

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本授業では、事業構想の発着想を支援する創造的思考法を身に付けるための実践的な演習を行いません。日常的に課題発見と創造的な思考を行なう為の方法や考え方を演習によって体得するとともに、「新規事業の構想×事業計画×事業の実行×出口戦略」といった一連のビジネスプラン作成を通じて新規事業の実行段階までの基盤形成を行います。

また、新規事業のマネジメントに必要な知識・能力を身に付けると共に、人・モノ・金に代表される経営資源の手配や運用だけでなく、多面的に事業構想を捉える事を学習し、課題探求・問題解決ができる能力を身に付けることを目的とします。近い将来、社会人としてビジネスの現場の最前線で活躍できるように、新規事業構築の実務経験を活かした「実践から学び、理論体系を構築」する授業を目指し、多くの最新事例を活用した理解しやすい授業スタイルで進行します。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション(講義の概要、目的、スケジュール、アンケート)
第 2 回	事業構想の考え方
第 3 回	事業アイデアの発想
第 4 回	ビジネスモデルキャンパス、ビジネスプランの作成指導
第 5 回	問題解決手法のプロセス グループディスカッションとまとめ ①
第 6 回	問題解決手法のプロセス グループディスカッションとまとめ ②
第 7 回	問題解決手法のプロセス グループディスカッションとまとめ ③
第 8 回	事業構想が社会的に果たす役割
第 9 回	外部講師による授業
第 10 回	新規事業のスタートアップ段階、成長段階における留意点
第 11 回	学生のプレゼンテーション ①
第 12 回	学生のプレゼンテーション ②
第 13 回	新規事業における人材戦略・人材育成
第 14 回	新規事業における資金調達
第 15 回	起業家診断、事業構想論の総まとめ
第 16 回	期末試験

到達目標

- 1) ベンチャー企業に関する基本的な知識を身に付けることができる。
- 2) 実社会におけるベンチャー企業の特徴と課題について、基本的な仕組みを理解ができる。
- 3) 実務経験と関連した多くの事例を取り上げるため、実務に直結した内容を修得することができる。
- 4) 自ら起業することを想定し、思考する事を通じて起業活動を解釈できる。

履修上の注意

- 1) 受講生には「結論を教えてください」という考えを捨て、「事業実践や先達の編み出したロジック」から自らの「事業構想」を構築しようというスタンスで参加するよう望んでいます。
- 2) ケーススタディにおけるグループディスカッションでは、討議した結果をレポートにまとめ授業の中で提出してもらいます。
- 3) 授業中に提示するテーマに添って3名~4名のチームごとにプレゼンテーションを行ってもらいます。
- 4) 授業の進捗状況に応じてシラバスは変更します。

予習・復習

- ・予習：新聞・雑誌・テレビ・WEBなどの大企業の活動に関するニュースに目を通してください。
- ・復習：学習した内容を関心のあるベンチャー企業にあてはめるなど、実際に確認してください。

評価方法

- 1) 期末試験の成績(50%)
- 2) プレゼンテーション(30%)
- 3) 講義への貢献度、グループディスカッション、レポート作成(20%)

テキスト

- ・教科書は指定せず、適宜、授業資料、新聞・雑誌のレジュメなどを配布します。